

大阪府・吉村知事 “うがい薬研究” こっそり終了…「コロナに効く」 ドヤ顔発言やはり嘘だった 2022年12月27日 日刊ゲンダイ



“ドヤ顔”で「うがい薬、コロナに効く」会見、うやむやに終わらせる気（維新・吉村 洋文大阪府知事=右）／（C）共同通信社

嘘みたいな本当の話」——。新型コロナ「第2波」のさなかの2020年8月、日本維新の会の共同代表、吉村洋文・大阪府知事が会見でこう言い放ってから2年が経過。ここへきて、当時の発言がやっぱり“嘘”だったことがハッキリした。

### ■読売新聞が「効果なし」とバツサリ

読売新聞の電子版が25日、〈吉村知事「コロナに効く」から2年、うがい薬研究ひっそり終了…専門家「推奨できる結果なし」〉と報じたのだ。

吉村知事は当時、テレビ中継された会見で、複数のポビドンヨード入りのうがい薬を前に「これらでうがいすることで、コロナ患者が減っていく」と発言。あたかも「コロナに効く」と言わんばかりだった。おかげで、全国のドラッグストアの棚からイソジンなどのうがい薬が消えるほどの大騒動が起きたのだった。

吉村知事は自らの主張の根拠として「大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター」の初期段階のデータを挙げていた。ところが、今年11月末に科学誌に掲載された同センターの研究結果をまとめた論文は「コロナに効く」とは思えない中身だ

論文はおおむね以下のような内容。同センターは20年11月～21年3月、軽症・無症状の陽性者430人に調査を実施。うがい薬を1日4回使うグループと、同じ頻度で水うがいをするグループに分け、PCR検査をした結果、療養5日目に陰性となった人の割合は、うがい薬が34.5%、水うがいが21.4%だった——。

25日の読売電子版は論文について〈「コロナに効く」と言えるかどうかは別問題〉とし

ている。

これにツイッターでは〈あの大々的な会見はなんだったんですか〉〈発表記者会見と対比して終了会見がないのはバランスが悪いなあ〉といった批判が続出し〈吉村知事〉は一時トレンド入り。「ひっそり終了」させウヤムヤにするなど、決して許されない。

### ■「大阪 W 選挙」への影響を恐れたか

ジャーナリストの横田一氏が言う。

最初に揚げるアドバルーンは派手だが、実際の中身は問題だらけ、というのが“維新クオリティー”です。カジノを含む統合型リゾート施設の整備を巡っても、『公金は使わない』と言っていたのに、大阪市が 790 億円も負担することになった。うがい薬の件は、なぜあんな発信をしたのか、結果的になぜ失敗したのか、などを検証した報告書を作り、知事は会見で釈明すべきでしょう」

来春には大阪府知事、市長のダブル選挙が控える。「ひっそり終了」したのは、選挙への悪影響を恐れたからではないか。